

八重山諸島へのシロアゴガエルの蔓延を食い止めよう！

特定外来生物

# シロアゴガエル

から八重山の自然を守ろう



大きさ 45～75mm

体の色 茶色。背中に暗色の縦縞がある個体もいます。上あごの周辺は白く縁取られています。

鳴き声 ギー、グイッと単発的に鳴きます。鳴き声は下記のホームページでも確認できます。

(<http://www.okinawa-kaeru.net/frog/frog-pic.html>)

## 沖縄に持ち込まれた外来生物

東南アジアに広く分布するシロアゴガエルは、1964年に沖縄島に持ち込まれたと考えられています。その後、物資と共に移動し、沖縄島周辺の島々には蔓延しています。近年では宮古島でも3～4年で全島に広がり、現在では周辺の島々にも広がってしまいました。いったん定着すると、あっという間に広がってしまいます。

在来のカエル類等に影響を及ぼす恐れがあるとして、2006年2月、環境省では「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律(外来生物法)」に基づいて、特定外来生物に指定し、飼育、保管及び運搬等を禁止しています。

## 八重山への侵入を防ぐ

石垣島での情報はこれまでも幾つかありましたが、単発的なものでその後は鳴き声は聞かれず、定着できていないと考えられていました。

ところが、2007年夏に空港周辺でかなりのシロアゴガエルが生息していること、水辺などで繁殖していることが明らかになりました。

もし石垣島に定着してしまうと、資材と共に与那国島や西表島などの八重山諸島へ蔓延してしまうのは時間の問題です。

環境省では、石垣空港周辺のシロアゴガエルの排除を徹底すると共に、石垣島の他の地域や、八重山の他の島々で定着していないか、監視していきます。

多くの皆様のご協力をお願いします

ウラもごらん下さい

八重山諸島へのシロアゴガエルの蔓延を食い止めよう！

# 八重山でのシロアゴガエル ル情報を求めています



シロアゴガエルの卵塊(泡巣)



**Wanted !**

## 4月から10月の卵塊(泡巣)と鳴き 声が発見のポイント

シロアゴガエルはアオガエル科の1種で、在来のヤヤマアオガエルと同じように、池などの水面上にある植物やコンクリートの壁面に泡巣(クリーム色の泡状の卵塊)を産み付けます。泡巣の大きさは7~10cmほどです。

シロアゴガエルの繁殖期は春から秋(4~10月)、ヤヤマアオガエルの繁殖期は冬(12~3月)なので、冬以外に泡巣を発見すれば、シロアゴガエルの可能性が高いといえます。

春から秋の繁殖期には池や沈砂池、集水ますに集まってきます。ちょっとした水たまりなどでも繁殖します。このような場所では、「ギー」というオスの鳴き声が聞こえてきます。

発行:2007年8月  
那覇自然環境事務所  
協力:自然環境研究センター、八重山カエル  
研究会、おきなわかエル商会



## 発見情報をお寄せください

石垣島はもちろん、八重山諸島全域でシロアゴガエルの侵入状況を追跡することは容易ではありません。それぞれの島に住んでいる皆さんの協力が不可欠です。4~10月の泡巣や鳴き声から「シロアゴガエルかも知れない」と思ったら、下記の環境省石垣事務所までご連絡ください。早い段階で対応できれば、効果的に定着を防ぐことができます。

八重山のすばらしい自然がこれ以上外来生物でみだされることがないように、ご協力をお願いします。

## 連絡先:

環境省石垣自然保護官事務所  
(国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター 内)  
〒907-0011  
沖縄県石垣市八島町2-27  
電話:0980-82-4768

多くの皆様のご協力をお願いします